

緑の相談所だより

No.129

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel: 0166-65-5553 Fax: 0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行: 平成 23 年 4 月 1 日



講習会のご案内 (お申込み・受付は前月の 20 日から)

「観葉植物の植替え実習」-1人2鉢以内-

とき 平成 23 年 4 月 17 日(日) 資材実費
午後 1:30~3:30 定員 20 名
講師 相談員

「洋ラン植替え実習」-シンビジューム-1人2鉢以内-

とき 平成 23 年 4 月 23 日(土) 資材実費
午後 1:30~3:30 定員 20 名
講師 旭川蘭友会 会長 谷口 忠一さん

「洋ラン植替え実習」-コチョウランなど-1人2鉢以内-

とき 平成 23 年 4 月 24 日(日) 資材実費
午後 1:30~3:30 定員 20 名
講師 旭川蘭友会 会長 谷口 忠一さん

「ガーデニングの土づくり」-花、野菜など-

とき 平成 23 年 5 月 8 日(日)
午後 1:30~3:30 定員 50 名
講師 相談員

「神楽岡公園自然観察会」-春の野草観察-

とき 平成 23 年 5 月 15 日(日)
午後 1:30~3:30 定員 30 名
講師 旭川帰化植物研究会
代表 塩田 惇さん

「家庭果樹の栽培管理と病害虫防除」

-芽摘み、摘果、夏剪定など-
とき 平成 23 年 5 月 21 日(土)
午後 1:30~3:30 定員 50 名
講師 相談員



「ミニ盆栽を作ろう」 教材費 ¥1,000

とき 平成 23 年 5 月 22 日(日)
午後 1:30~3:30 定員 20 名
講師 旭川ミニ盆栽会 会長 長谷川 八郎さん



「花と庭木の害虫」

とき 平成 23 年 5 月 29 日(日)
午後 1:30~3:30 定員 50 名
講師 相談員

「山野草の寄せ植えづくり」

とき 平成 23 年 6 月 5 日(日) 教材費 ¥1,000
午後 1:30~3:30 定員 20 名
講師 北海草山草趣味の会 森下 光晴さん

☆ 花フェスタ2011 ☆

期間: 6 月 8 日~12 日

場所: 大雪アリーナ

* 緑の相談コーナー

展示会のご案内 (4 月~10 月は第 2・4 月曜日が休館)

「野の花写真展」4 月 1 日~30 日 「春の洋ラン展」4 月 22 日~24 日 「植物画展」5 月 1 日~31 日
「ミニ盆栽展」5 月 20 日~22 日 「サツキ展」5 月 27 日~29 日 ※「サツキの育て方」相談コーナー

4 月の園芸作業

1 鉢花・草花・球根類

アザレアは樹形を整える剪定をした後、固まったフェルト状の根を崩して 1/3 くらい切り取って植替えしましょう。

ゼラニウム、フクシャ、ポインセチアなど徒長枝の鉢は間引きや切戻し剪定をし、植え替えましょう。

夏花壇用のサルビアやマリーゴールドなどは上旬にタネを播きましょう。

ハイビスカスやアブチロンなどは前年枝の基部まで切り戻し、植え替えしましょう。

チューリップやスイセンは雪が消えたら、球根の周りに油粕や化成肥料を 1㎡当たり各 50～60g 施しましょう。



2 観葉植物類

日中は暖かくても夜間は温度が下がるので最低気温に注意し、凍霜害にならないよう気をつけましょう。

ハダニやオンシツコナジラミ、コナカイガラムシをみつけたら早目に防除しましょう。

3 多肉植物・サボテン類

だんだんと日差しが強くなりますので、日当たりの良い窓辺に置いて、少しずつ水やりを開始しましょう。

シャコバサボテンは先端の茎を 2～3 節摘んで全体の樹形を整えてから植替えをしましょう。

4 洋ラン類

シンビジウムやデンドロ・ノビル系は少しずつ日光に馴らし、日当たりの良い場所に移動しましょう。

カトレアやコチョウランはレースのカーテン越しに置き日焼けに注意しましょう。

水やりは乾いたらタツプリやりましょう。

カトレア、コチョウラン、デンドロ、オンシジュームなどは植替え後に水を与えず、霧だけで 3 週間ほど養生させて根の傷みの回復と発根を促しましょう。

5 月の園芸作業

1 鉢花・草花・球根類

ベコニア、フクシャ、ゼラニウムなどは植替えをして生長に合わせて水やり回数を多くします。肥料は置肥と液肥を併用しましょう。

室内のアマリリスなど植え替えが終わっていないものは植替えをして日当たりの良い場所で育てましょう。

ベゴニアなどの鉢花は曇りの日か雨の日に屋外に出し、外気に馴らしてから屋外に出しましょう。

ダリア、カンナなどは地温が 10℃以上なり、晩霜に気をつけて 5 月下旬以降に定植しましょう。

雪解けとともに芽を出すプリムラ、シャクヤク、シバザクラなどの宿根草にはなるべく早く油粕と化学肥料を与えましょう。

2 観葉植物類

2～3 年経った鉢は早目に新しい用土に植替えし、同時に徒長した枝は剪定して樹形を整え、新芽が出てきた鉢はかん水を多くし液肥を与えましょう。屋外に出すときは、徐々に日光に慣らし、葉焼けを防止しましょう。



3 多肉植物・サボテン類

アロエ、カネノナルキなどの多肉植物やサボテン類は生長期なので屋外の日当たりの良い場所で水と肥料を与えましょう。（晩霜に注意して少しずつ馴らしてください。本格的な屋外は 6 月からです。）

4 洋ラン類

新芽の生長が見られる株には 1,000～2,000 倍の液肥を 10 日毎に与え、水やりは乾いたらタツプリ与えましょう。

シンビやデンドロは晴天の日は屋外に出し、日光に当てて置肥も始めます。日光に馴らすための遮光も必要です。シンビの芽は 1 パルブ 1 芽を確実に残し、他の芽はかき取りましょう。

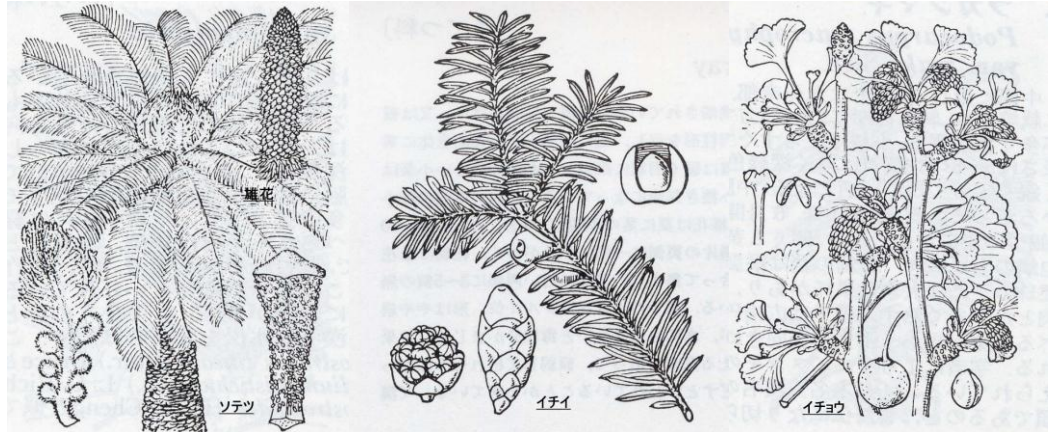
しゅういしゅ 知っておこう「雌雄異株のはなし」

植物には一つ花の中に雌しべと雄しべがある種(両性花)や、雌花と雄花に分かれている種(雌雄異花)があります。また、同一の植物体に雌花と雄花が咲くものを雌雄同株(キュウリやカボチャなど)、夫々が別れて咲くものを雌雄異株(雌花又は両性花の株と雄花の株)と呼ばれています。

雌雄異株の身近なものでは、イチイ(オンコ)の赤い実が生るのが雌の木で、雄花だけで実が生らないのが雄の木です。

下表のようにいろいろな種があります。

庭や鉢植えで楽しむときは、この性状を考えて苗木を購入すると良いでしょう。



よく見かける雌雄異株の植物

イチイ、ソテツ、イチョウ、ミヤマビャクシン、アオキ、イヌツゲ、カンノンチク、キンモクセイ、ゲッケイジュ、ジンチョウゲ、フェニックス、シュロ、シュロチク、ツゲ、ナニワズ、ヒイラギ、モクセイ、ユズリハ、ガンコウラン、ウコギ、ウルシ、カツラ、クワ(同株もあり)、ヤナギ、アマチャズル、サンショウ、イタドリ、コクワ、キウイ、ツルウメモドキ、ニワウルシ、ヌルデ、マユミ、チョウセンゴミシ、ヤマブドウ(同株もあり)など、野菜ではホウレンソウ、アスパラガスなど

緑の相談 QアンドA (4)

クワズイモの根が腐ってきました。助けたいのですが、どのようにしたら良いですか。

クワズイモはインド、中国南部、台湾、日本の南西部(沖縄等)に生育しているサトイモ科アロカシア属の非耐寒性の植物です。生育は高温多湿と肥沃な土を好みますが、旭川の冬季間は特に水やりを控え、乾燥気味にして育ててください。

質問の根茎の腐れは、秋から冬にかけて水を多く与えず、鉢土が過湿になったことが原因でしょう。これを回復させるには、まず腐った根の部分を切り取り、切り口を乾かすか、又は切り口に殺菌癒合剤「トップジンMペースト」を塗ります。

根株全体が腐った場合は、上部の葉がしっかりしている部分、健全な茎のところで切断し、切り口を上記方法で処理し、乾いてから挿し木用土に挿してください。20℃前後の温度を保つと3週間後位から発根が始まりますので、少しづつ日に当てて1ヵ月半後位に培養土に植え替えると、茎の中間から新芽が伸び出し再生するでしょう。



アマリリスの管理

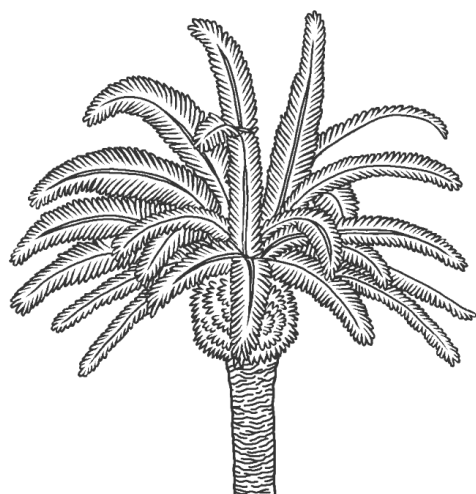
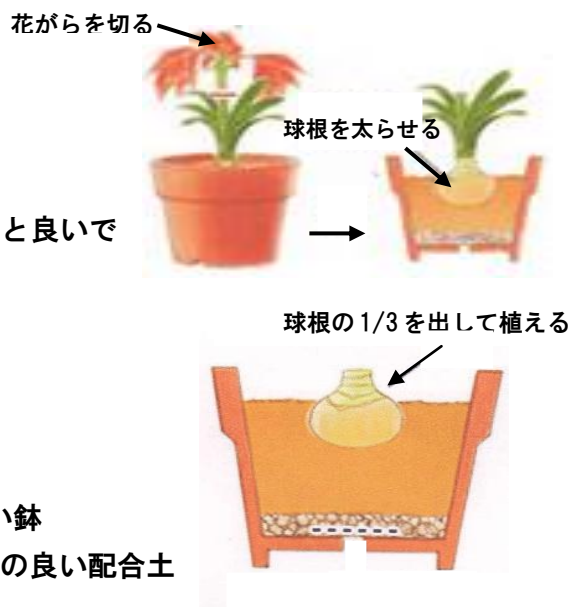
草姿の割に大きく豪華な花を咲かせるアマリリスは、南アメリカ原産のヒガンバナ科ヒッペアストルム属の半耐寒性球根植物です。

―来年も花を咲かせるには―

アマリリスの花芽分化は、クンシランと同じで新しい葉を出すことにより形成されます。

新しい葉が5～6枚出ると球根内部に花芽ができます。したがって開花後も用土が乾いたら水をタップリ与え、肥料も根の生育が順調であれば置肥と液肥の併用で、球根の肥大と充実を図ることが大切です。

- ・ 花が満開となり傷んできたら、花茎は付けたまま花を切除します。
- ・ 日照を好むので、戸外に出せるまでは室内の明るい窓辺で灌水、施肥管理をします。寒さの恐れがなくなったら戸外で生育させますが、直射の強い真夏は半日陰に置くと良いでしょう。
- ・ チッ素肥料が効きすぎると、花芽形成を悪くするのでリン酸、カリ肥料の施用も大切です。
- ・ 9月下旬頃より、灌水は徐々に減らして鉢土を乾かし休眠させます。降霜の前に入室しましょう。
- ・ 休眠させた球根は、開花予定の35～45日前に一回り大きい鉢（球根直径の2倍サイズの鉢）に植え替えます。用土は通気性の良い配合土（例 赤玉土4：腐葉土4：火山礫2 マグアンプk）。
- ・ プラスチックポット植え球根は開花後に普通鉢に植替え、球根の充実を図ります。



展示室の植物（36）

カナリーヤシ（フェニックス）ヤシ科 フェニックス属

アフリカ西海岸カナリア諸島原産の常緑高木です。比較的寒さに強いので公園や街路樹、庭園などに装飾樹として植栽されます。大きな羽状複葉が特徴で雌雄異株です。日本では東京以南で生育可能で、一般的にフェニックスと呼ばれています。宮崎県で多く植えられており、県木となっています。